

青函共用走行区間の保守工事に伴う新幹線列車の運休について

青函共用走行区間（青函トンネル含む）において、2025年5月11日から7月27日までの毎週日曜日に最終の新幹線を計画的に運休し、設備の交換や更新を進めるために保守作業時間を拡大して工事を実施いたします。

ご利用のお客さまには大変ご不便をおかけいたしますが、列車を安全に運行するため保守工事を進めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

1. 運休列車

「はやぶさ39号」は、行先を新青森に変更して運転いたします。

下り	東京	新青森		新函館北斗
はやぶさ39号	19:20発	22:30着	22:32発	23:29着
※東京～新青森間は通常どおり運転			一部区間運休	

「はやて100号」は、全区間運休いたします。

上り	新函館北斗	新青森
はやて100号	21:57発	22:59着
全区間運休		

2. 2025年運休日カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

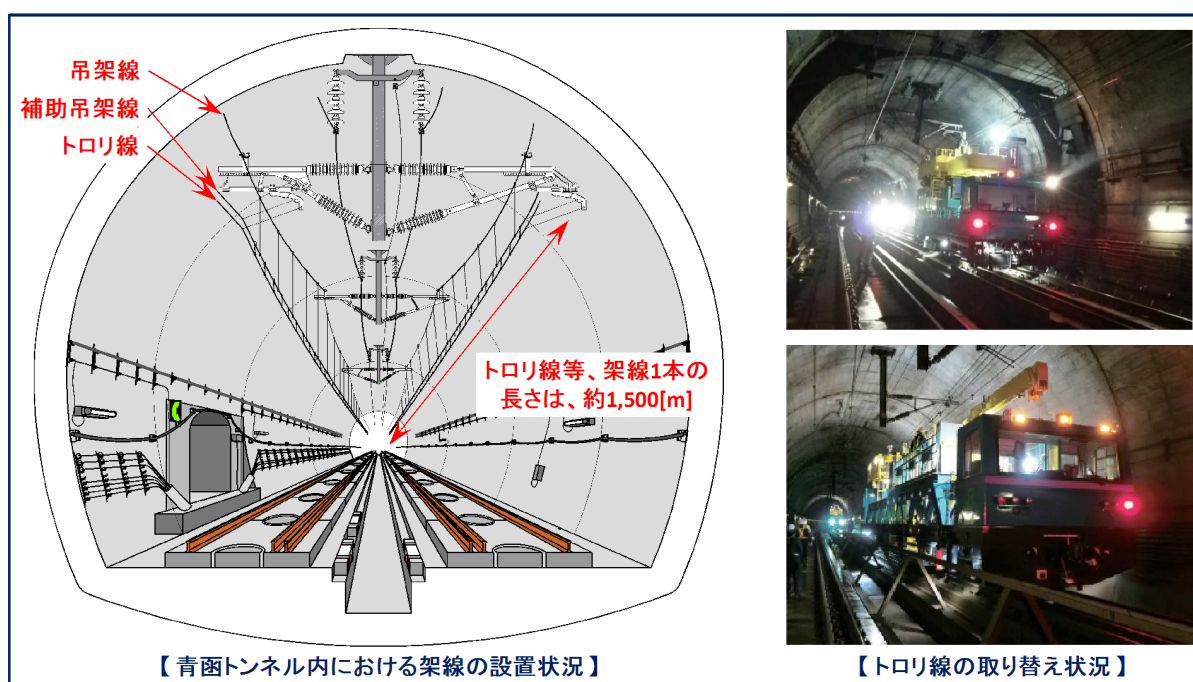
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

《凡例》  : 運休日 5月11日～7月27日の毎週日曜日（全12日間）

最終の新幹線にご乗車を予定されているお客さまには大変ご不便をおかけしますが、ご利用の際には、時刻表、駅頭掲示およびホームページ等でご確認いただきますようお願いいたします。

青函共用走行区間で最終の新幹線を計画的に運休して実施する工事について

- トロリ線等の架線（新幹線や貨物列車に電力を供給する重要な設備）の取り替えは、1本約1,500mもの長さの架線を一晩で取替完了させる必要があります。その際、保守基地から作業地点までの往復時間を含めると、連続6時間程度の保守間合いが必要となります。
- そのため、青函共用走行区間における通常の保守間合いを大幅に拡大し、安全・安定輸送の確保に努めるため、計画的に取替工事を進めます。
- トロリ線等の架線は、1本の長さが約1,500mであり、新幹線ではより確実性を高めるため中間に接続点を設けないこととしています。
- 青函トンネルには、海峡線開業以降36年間使用してきたトロリ線、補助吊架線、吊架線が合計約250本、総延長約380km架設されており、今後も順次取り替えていく計画です。



青函共用走行区間

北海道新幹線の新青森～新函館北斗間の約149kmのうち、青函トンネルを含む約82kmの間が三線軌条という特別な線路構造になっており、新幹線と在来線貨物列車が同一の線路を走行する共用走行区間となっています。